

環境園芸学科 農場実習

4月8日、15日、22日

開 講

は 種

講座名を環境農学科から環境園芸学科に、
体験農場を四郷町の農ライフ創生センターにかえて、
24人の受講生で、今年度の講座がスタートしました



【受講生の声】

初めて聞くことばかりで、とても興味深く勉強になりました。
何事も一つのことをやりだせば奥が深いなと思いました。

今月の講座は
農業の基本用語
土の性質と肥料
種子の特性
畝の役割 など
を学びました

畑では
スイートコーン、
レタス、カボチャ、
ネギの種を蒔き
元肥を施し
畝を立て
マルチングしました

セルトレイに培土を入れて



小さな種を一粒ずつ

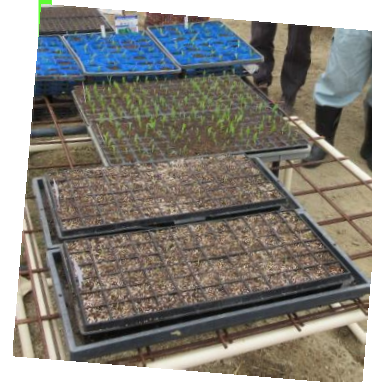


たっぷり水を与えます



【受講生の声】

ペーパーポットの使い方、非常に合理的。ポットへの土込めをきつく行うのに驚いた。
トウモロコシの種がオレンジ色だったとはビックリ!!
種の大きさであらかじめ土に水を混ぜた方がよいものがある事が分かった。



芽が出てきました

畝立て

畝が曲がらない様にラインを出して、元肥を撒き、耕して、土を寄せて、均して、マルチシートを張りました



管理機のカも借りて



【受講生の声】

農業は自然相手、そして共存して行くのご褒美をくれる。休みの間主人に楽しい楽しいと話をしていたら、2週間後我家にはいつの間にか
花壇と畑ができていた!!まだそこまで講義進んでいませんー。

畝立てという作業は、とても力がある大変な作業だと思いました。“クワで耕す”と腰が痛くなるということが、ほんの少し作業しただけ
なのに実感できました。初めての農作業の経験ばかりで、とても楽しい講座でした。

作業の合間に
ほ場の石拾い

